

# 沖縄振興の起点

米軍施政権下27年間は、日本政府の支援を受けることができなかった。

1972年の日本復帰以降、国は沖縄の持つ「**特殊事情**」を踏まえ、**格差の是正、沖縄の自立的発展の基礎条件の整備**等を目的として、3次にわたる沖縄振興開発計画及び沖縄振興計画を実施

## 【特殊事情】

① 沖縄が26年余りにわたり我が国の施政権の外にあった**歴史的事情**

② 広大な海域に多数の離島が存在し本土から遠隔にある**地理的事情**

③ 我が国でも希な**亜熱帯地域**にあること等の**自然的事情**

④ 米軍施設・区域が集中しているなどの**社会的事情**

(参考)奄振における特殊事情(奄振法第1条)

①戦後米軍の支配下にあった**歴史的事情**

②外洋遠隔性、遠洋分散性に起因する移動・物流コストの増大等の**地理的事情**

③亜熱帯気候による台風の常襲地帯である等の**自然的事情**

## (参考) 本土復帰時の沖縄

### 日本本土

高度成長を終えた時期

#### 【高度成長期】

- 鉄道、道路港湾等の産業基盤が整備
  - ・第1次全国総合整備計画
  - ・所得倍增計画
- 新産業都市建設促進法、工業整備特別地域整備促進法が策定

一方で

### 沖縄

戦争により社会基盤は壊滅し、日本の施政権から分離された。米軍施政権下で、日本本土とは大きく異なる基地依存型輸入経済構造となった。

#### 【米軍施政権下】

- 経済社会の発展のための十分な資金投下がなかった
- 日本政府の産業政策が及ばない
- 社会生活基盤、産業基盤整備の絶対的な後れと弱い物的生産力

復帰時の沖縄の経済社会の状況は、医療、教育、交通等の生活基盤、産業基盤など多くの分野で本土と著しい格差があった